

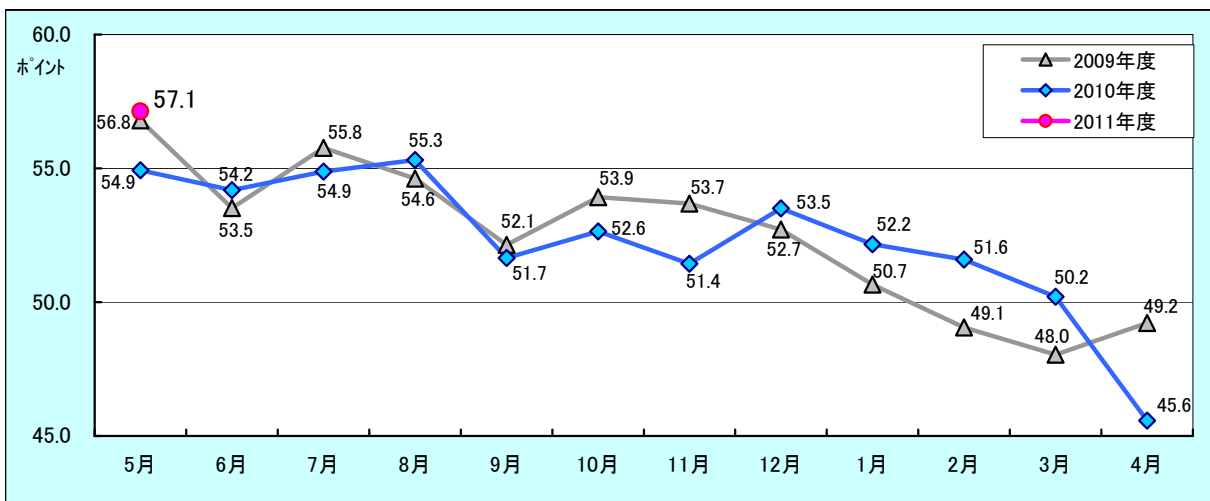
東日本大震災により被害を受けられた皆様に、心よりお見舞い申し上げます。
一日も早い復旧と、皆様のご健康を心からお祈り申し上げます。

岡山生活者意識調査

5月の岡山県民の消費意向得点は57.1ポイント[※]

消費意向は例年並みまで回復。
景気不安、物価高感の中、震災自粛ムードが和らぐ。

※消費意向得点は、調査対象者に次月の消費意向を最大100満点で表してもらったものです。



次月の消費意向得点は前月から11.5ポイント増加、前年同月比2.2ポイント増加の57.1ポイントとなりました。調査開始以来の最高ポイントで、男女共に高い結果となっています。例年、GWを間近に控えたこの時期は消費意向が高い傾向にあり、東日本大震災による自粛ムードも和らいだようです。

暮らし向き予測を見ると、「消費(家計)支出の引き締め」具合は調査開始以来最も緩んだ状態となっています。「今後の雇用」見通しも、3ヶ月連続前年同月を上回りました。しかし、「今後の景気」や「物価について」の見通しは、前月の落ち込みを約半分程度回復したものの、前年同月水準には遠く及んでいません。また、「今後の世帯収入」の見通しは、2ヶ月連続して前年同月を下回っており、収入不安を拭うことができていません。

暮らしシーン別の注力度をみると、消費意向の構成要素が見えてきます。注力度10項目の全てが前月比増となりましたが、うち7項目(「家族との生活」「人づきあい」「趣味・遊び」「余暇・レジャー」「学び・教養」「健康管理」「大きな値の張る耐久消費財」)は前年同月を下回っています。前年同月を上回っているのは「仕事」「貯蓄」の2項目、前年同値は「外食・食事」です。注力度の総和は2ヶ月連続前年同月を下回り、全体的にこの10項目に対する関心は薄れたままとなっています。内閣府発表の4月の消費動向調査(調査基準日4月15日)は、消費マインドの基調判断を「悪化している」とし、2ヶ月連続して下方修正しています。

景気や物価に大きな不安を持ち、収入増加の期待もできず、暮らしの活力がなかなか生まれてこない中で、消費意向だけが前向きで財布の紐が過去最高に緩んでいるという状況は、従来の岡山県民の生活者意識とは違っています。自粛ムードの一服感には、GWを機に消費によって被災地復興支援をしようという意識が芽生えてきたのかもしれない。

調査概要

調査時期：2011年4月25日(月)～2011年5月1日(日)

調査対象：岡山県在住の男女268名

(株式会社ビザビリレーションズのメルマガ会員からモニターを抽出。)

調査方法：インターネット調査

回答者プロフィール：◎男性50.0%、女性50.0%

◎PCユーザー50.0%、Mobileユーザー50.0%

◎20代24.6%、30代24.6%、40代24.6%、50代以上26.1%

◎岡山市37.3%、倉敷市23.9%、その他県内38.8%

◎家計を共にしている子供がいる54.1%、いない45.9%

◎住宅ローンがある34.7%、ない65.3%

1. 消費意向得点の推移

例年4月～7月頃は消費意向が高い傾向にありますが、男女共に前年同月を上回りました。男性は55.1ポイントと2009年6月以来の高さ、女性は59.2ポイントと調査開始以来最も高い結果となりました。

年代別でみると、全年代が前月より増加し、また、40代を除いた全ての年代が前年同月を上回りました。最も高かったのは30代、最も大きく前年を上回ったのは20代です。

●次月のあなたの消費意欲は何点ぐらいになりそうですか？

調査時期	男性		女性		20代		30代		40代		50代以上	
	前年 同月差	前年 同月差	前年 同月差	前年 同月差	前年 同月差	前年 同月差	前年 同月差	前年 同月差	前年 同月差	前年 同月差	前年 同月差	
2009年4月	57.0	—	56.6	—	57.2	—	56.8	—	53.7	—	59.3	—
5月	52.7	—	54.3	—	60.7	—	52.4	—	48.6	—	52.6	—
6月	55.3	—	56.2	—	60.8	—	53.2	—	51.1	—	58.0	—
7月	52.5	—	56.7	—	58.8	—	52.9	—	51.6	—	55.0	—
8月	51.3	—	53.0	—	56.8	—	51.7	—	46.3	—	53.6	—
9月	53.7	—	54.1	—	55.7	—	56.5	—	49.7	—	54.0	—
10月	54.7	—	52.7	—	56.7	—	52.6	—	50.9	—	54.5	—
11月	52.9	—	52.5	—	58.7	—	53.3	—	46.0	—	52.3	—
12月	51.5	—	49.9	—	53.8	—	53.2	—	44.3	—	51.0	—
2010年1月	49.5	—	48.7	—	53.8	—	47.5	—	44.3	—	50.3	—
2月	47.2	—	48.9	—	50.4	—	47.7	—	43.2	—	50.4	—
3月	48.4	—	50.0	—	51.8	—	49.9	—	45.6	—	49.6	—
4月	52.5	▲ 4.5	57.4	0.8	53.3	▲ 3.9	57.7	0.9	55.0	1.2	53.7	▲ 5.7
5月	50.8	▲ 2.0	57.9	3.6	52.8	▲ 7.9	56.5	4.2	50.9	2.3	56.6	4.0
6月	53.3	▲ 2.1	56.8	0.5	52.5	▲ 8.3	58.4	5.2	52.8	1.8	55.8	▲ 2.2
7月	52.6	0.0	58.2	1.5	55.8	▲ 3.0	59.2	6.3	53.7	2.1	52.8	▲ 2.3
8月	49.3	▲ 2.0	54.1	1.1	51.0	▲ 5.8	52.8	1.1	50.3	4.1	52.4	▲ 1.3
9月	51.0	▲ 2.7	54.3	0.2	52.3	▲ 3.4	54.4	▲ 2.1	51.0	1.3	52.8	▲ 1.1
10月	48.5	▲ 6.2	54.4	1.7	49.3	▲ 7.4	53.2	0.5	53.1	2.2	50.1	▲ 4.4
11月	51.6	▲ 1.3	55.5	3.0	53.4	▲ 5.3	53.2	▲ 0.2	54.9	8.9	52.7	0.4
12月	49.2	▲ 2.3	55.2	5.4	52.3	▲ 1.5	55.0	1.8	49.1	4.8	52.2	1.3
2011年1月	47.9	▲ 1.5	55.3	6.6	49.0	▲ 4.9	50.7	3.2	53.5	9.2	53.4	3.2
2月	46.9	▲ 0.3	53.5	4.6	53.2	2.8	47.3	▲ 0.4	51.6	8.3	48.8	▲ 1.7
3月	42.3	▲ 6.1	48.9	▲ 1.1	46.5	▲ 5.3	46.5	▲ 3.4	42.7	▲ 2.9	46.7	▲ 2.9
4月	55.1	2.6	59.2	1.8	58.6	5.3	59.6	1.9	54.6	▲ 0.4	55.8	2.1

2. 暮らしシーン別の注力度

全項目が前月比増となっていますが、10項目中7項目(「家族との生活」「人づきあい」「趣味・遊び」「余暇・レジャー」「学び・教養」「健康管理」「大きな値の張る耐久消費財」)は前年同月を下回っています。中でも最も大きく下回ったのは「大きな値の張る耐久消費財」で、次いで「余暇・レジャー」となっています。

一方、前年同月を上回ったのは「仕事」と「貯蓄」の2項目。「仕事」は例年、新年や新年度のスタート時期は高い傾向にあります。今回は2009年4月に次ぐ高い数値となっています。また、「貯蓄」が調査開始以来初めて前年を上回る結果となりました。

前年同値となったのは「外食・食事」。身近にできる消費による被災地支援、また、購入の有無は別として被災地産に注目する、といったことも注力度を例年並みまで回復させている要因ではないでしょうか。

●次月、どのくらい力を入れていきたい(時間やお金や手間などをかけたい)ですか？

調査時期	家族との生活		食費・外食		人づきあい		仕事		趣味・遊び	
		前年 同月差		前年 同月差		前年 同月差		前年 同月差		前年 同月差
2009年4月	79.4	—	48.6	—	62.6	—	76.4	—	63.2	—
5月	75.9	—	44.9	—	58.1	—	73.8	—	63.2	—
6月	78.2	—	47.7	—	59.5	—	70.9	—	62.7	—
7月	73.6	—	45.8	—	58.6	—	72.9	—	60.9	—
8月	73.1	—	41.7	—	55.6	—	70.4	—	59.5	—
9月	74.7	—	45.3	—	56.2	—	72.0	—	58.5	—
10月	74.7	—	42.4	—	55.7	—	70.0	—	57.9	—
11月	73.8	—	45.6	—	53.9	—	71.1	—	55.9	—
12月	72.1	—	43.3	—	56.0	—	74.1	—	55.3	—
2010年1月	72.7	—	41.4	—	54.1	—	72.9	—	52.0	—
2月	71.2	—	42.2	—	55.6	—	70.3	—	53.7	—
3月	71.2	—	42.3	—	54.0	—	71.8	—	53.4	—
4月	77.2	▲ 2.2	45.3	▲ 3.3	60.7	▲ 1.9	74.1	▲ 2.3	63.5	0.4
5月	76.3	0.4	44.5	▲ 0.4	58.3	0.2	74.4	0.6	60.4	▲ 2.8
6月	75.5	▲ 2.7	45.2	▲ 2.5	55.9	▲ 3.6	71.9	1.0	59.6	▲ 3.1
7月	74.9	1.4	43.3	▲ 2.5	54.6	▲ 4.0	72.5	▲ 0.3	59.5	▲ 1.5
8月	71.4	▲ 1.8	42.0	0.4	54.0	▲ 1.6	72.4	2.0	53.4	▲ 6.2
9月	73.3	▲ 1.4	43.3	▲ 2.0	55.3	▲ 0.9	72.3	0.3	55.7	▲ 2.8
10月	72.8	▲ 1.9	43.5	1.1	52.6	▲ 3.1	71.8	1.7	55.4	▲ 2.5
11月	72.8	▲ 1.0	44.3	▲ 1.2	55.3	1.4	70.3	▲ 0.8	55.3	▲ 0.6
12月	72.2	0.1	42.3	▲ 1.0	54.9	▲ 1.1	73.0	▲ 1.1	53.3	▲ 2.1
2011年1月	73.4	0.7	42.7	1.3	54.6	0.5	71.7	▲ 1.1	54.2	2.1
2月	72.4	1.2	41.0	▲ 1.2	55.1	▲ 0.5	73.0	2.7	52.4	▲ 1.3
3月	71.1	▲ 0.1	40.2	▲ 2.1	52.4	▲ 1.6	71.8	0.1	50.2	▲ 3.2
4月	75.1	▲ 2.1	45.3	0.0	60.0	▲ 0.7	76.1	2.0	61.4	▲ 2.1
調査時期	余暇・レジャー		学び・教養		健康管理		大きな値の張る耐久消費財		貯蓄	
		前年 同月差		前年 同月差		前年 同月差		前年 同月差		前年 同月差
2009年4月	59.0	—	64.5	—	85.8	—	40.5	—	77.6	—
5月	59.1	—	62.2	—	81.2	—	39.4	—	77.4	—
6月	58.7	—	58.8	—	81.8	—	37.2	—	77.5	—
7月	56.2	—	61.5	—	82.3	—	35.6	—	73.3	—
8月	54.9	—	60.7	—	80.3	—	32.6	—	73.7	—
9月	55.1	—	61.3	—	80.1	—	36.9	—	74.0	—
10月	57.1	—	61.8	—	82.2	—	32.3	—	72.9	—
11月	53.3	—	57.2	—	79.8	—	32.2	—	74.3	—
12月	50.4	—	60.3	—	81.2	—	30.9	—	74.9	—
2010年1月	49.1	—	59.6	—	81.5	—	29.4	—	73.7	—
2月	51.7	—	61.3	—	80.6	—	30.3	—	74.7	—
3月	50.3	—	63.6	—	80.2	—	29.8	—	73.5	—
4月	59.9	0.9	67.2	2.8	85.8	0.0	40.4	▲ 0.1	75.4	▲ 2.2
5月	55.1	▲ 3.9	66.1	3.9	81.2	0.0	35.0	▲ 4.5	74.5	▲ 2.9
6月	57.0	▲ 1.7	65.7	6.9	81.2	▲ 0.6	37.7	0.4	71.1	▲ 6.4
7月	55.4	▲ 0.8	66.9	5.4	82.7	0.3	35.7	0.0	71.5	▲ 1.8
8月	49.4	▲ 5.5	63.1	2.4	81.3	1.1	34.7	2.1	70.7	▲ 3.1
9月	52.7	▲ 2.4	64.3	3.0	80.3	0.2	31.2	▲ 5.6	70.2	▲ 3.8
10月	51.0	▲ 6.2	63.4	1.6	82.3	0.1	29.5	▲ 2.8	70.2	▲ 2.7
11月	53.1	▲ 0.2	65.3	8.1	81.0	1.3	32.2	▲ 0.1	69.6	▲ 4.7
12月	54.1	3.7	65.3	5.1	81.8	0.6	31.3	0.4	73.0	▲ 1.8
2011年1月	51.1	2.0	64.5	5.0	80.6	▲ 0.8	29.8	0.4	71.3	▲ 2.4
2月	51.6	▲ 0.0	64.5	3.3	81.3	0.7	30.4	0.1	70.9	▲ 3.8
3月	48.0	▲ 2.3	62.8	▲ 0.8	81.2	1.0	27.4	▲ 2.4	70.6	▲ 2.9
4月	56.9	▲ 3.0	65.8	▲ 1.4	83.4	▲ 2.4	36.3	▲ 4.2	75.6	0.2

3. 暮らし向きの予測

「今後の景気」見通しは、前月差9.7ポイント増、前年同月差20.3ポイント減で、前月からは大きく増加しましたが、前年同月の水準にまでは遠く及んでいません。

「今後の雇用」見通しは、前月差1.5ポイント減、前年同月差1.8ポイント増でした。前月比は2ヶ月連続して減少していますが、前年同時期も似た動きをしており、これらは岡山におけるこの時期の意識の特徴かもしれません。また、3ヶ月連続して前年同月を上回っており、大きな不安はなさそうです。

「今後の世帯収入」の見通しは、前月差1.3ポイント増、前年同月差2.7ポイント減で、2ヶ月連続して前年を下回っています。

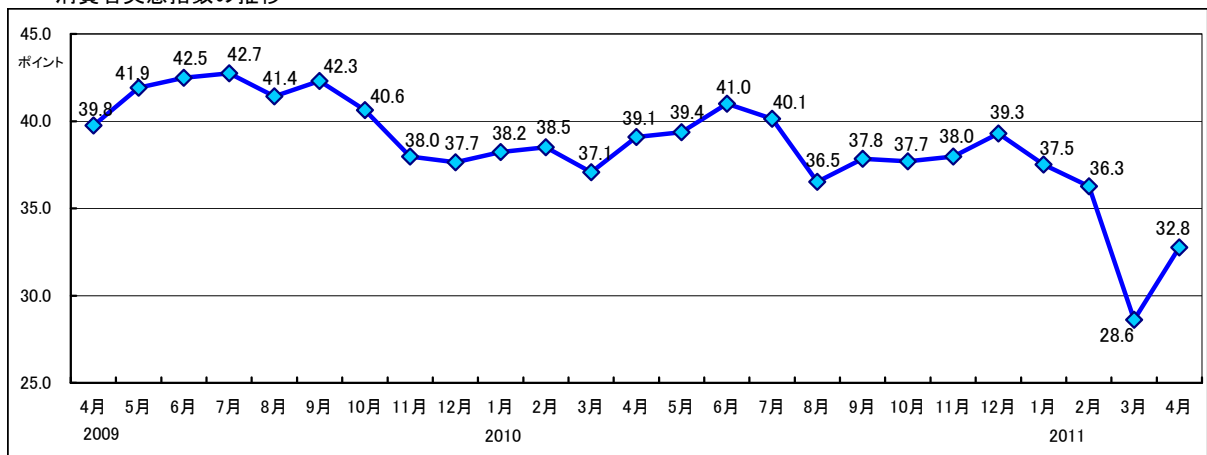
「消費(家計)支出の引き締め」は前月差6.0ポイント増、前年同月差3.0ポイント増で、調査開始以来最も緩んだ状態となっています。

「物価について」は前月差5.3ポイント増、前年同月差13.2ポイント減で、物価高を感じている状況は続いています。

●今後の変化をどう感じていますか？

調査時期	消費者実態指数		消費者意識指数									
			今後の景気		今後の雇用		今後の世帯収入		消費(家計)支出の引き締め		物価について	
	前年同月差	前年同月差	前年同月差	前年同月差	前年同月差	前年同月差	前年同月差	前年同月差	前年同月差	前年同月差		
2009年4月	39.8	—	47.9	—	34.9	—	33.4	—	30.9	—	51.8	—
5月	41.9	—	53.2	—	38.4	—	34.8	—	31.5	—	51.7	—
6月	42.5	—	55.4	—	39.2	—	35.3	—	32.3	—	50.3	—
7月	42.7	—	55.3	—	41.2	—	35.5	—	31.9	—	49.9	—
8月	41.4	—	54.1	—	39.8	—	36.4	—	32.5	—	44.4	—
9月	42.3	—	55.4	—	39.3	—	37.4	—	31.9	—	47.6	—
10月	40.6	—	49.9	—	40.4	—	35.7	—	29.5	—	47.8	—
11月	38.0	—	38.0	—	37.1	—	30.9	—	28.3	—	55.7	—
12月	37.7	—	39.0	—	39.3	—	32.9	—	27.7	—	49.5	—
2010年1月	38.2	—	40.7	—	37.8	—	33.9	—	28.1	—	50.7	—
2月	38.5	—	41.8	—	38.3	—	33.5	—	27.8	—	51.0	—
3月	37.1	—	40.8	—	33.9	—	33.0	—	29.3	—	48.4	—
4月	39.1	▲0.7	49.5	1.7	32.6	▲2.3	35.2	1.8	32.1	1.2	45.9	▲5.9
5月	39.4	▲2.5	44.5	▲8.7	36.4	▲2.1	34.7	▲0.0	33.0	1.4	48.3	▲3.4
6月	41.0	▲1.5	50.6	▲4.8	38.5	▲0.6	35.5	0.2	32.2	▲0.1	48.3	▲2.0
7月	40.1	▲2.6	46.5	▲8.8	37.0	▲4.2	36.0	0.5	33.7	1.8	47.5	▲2.4
8月	36.5	▲4.9	35.3	▲18.9	37.6	▲2.2	33.3	▲3.1	31.0	▲1.6	45.6	1.2
9月	37.8	▲4.5	39.6	▲15.8	39.0	▲0.3	34.8	▲2.6	30.9	▲1.1	45.0	▲2.6
10月	37.7	▲2.9	38.7	▲11.2	37.7	▲2.7	34.7	▲1.0	31.6	2.1	46.0	▲1.8
11月	38.0	0.0	39.1	1.1	38.1	1.0	34.7	3.8	32.9	4.7	45.4	▲10.3
12月	39.3	1.6	40.1	1.2	38.5	▲0.8	36.3	3.4	33.8	6.2	47.8	▲1.7
2011年1月	37.5	▲0.7	40.0	▲0.6	37.4	▲0.4	35.1	1.2	34.1	5.9	41.0	▲9.7
2月	36.3	▲2.2	37.3	▲4.6	39.6	1.3	36.3	2.8	32.3	4.5	36.0	▲15.0
3月	28.6	▲8.5	19.6	▲21.2	35.9	2.0	31.2	▲1.9	29.0	▲0.3	27.4	▲21.0
4月	32.8	▲6.3	29.3	▲20.3	34.4	1.8	32.4	▲2.7	35.1	3.0	32.7	▲13.2

消費者実態指数の推移



※消費者実態指数 (内閣府「消費動向調査」を参考に作成)

・暮らし向き予測5項目(景気、雇用、世帯収入、支出、物価)に関し、5段階評価のそれぞれを、「良くなる」(+1)、「やや良くなる」(+0.75)、「変わらない」(+0.50)、「やや悪くなる」(+0.25)、「悪くなる」(0)として点数化し、この点数に各回答区分の構成比(%)を乗じ、その結果を合計して、各項目ごとに消費者意識指数を算出。・これら5項目の消費者意識指数を単純平均し、消費者実態指数として算出。

※表、図及びデータ編の値は、四捨五入による集計上の誤差が生じることがあります。

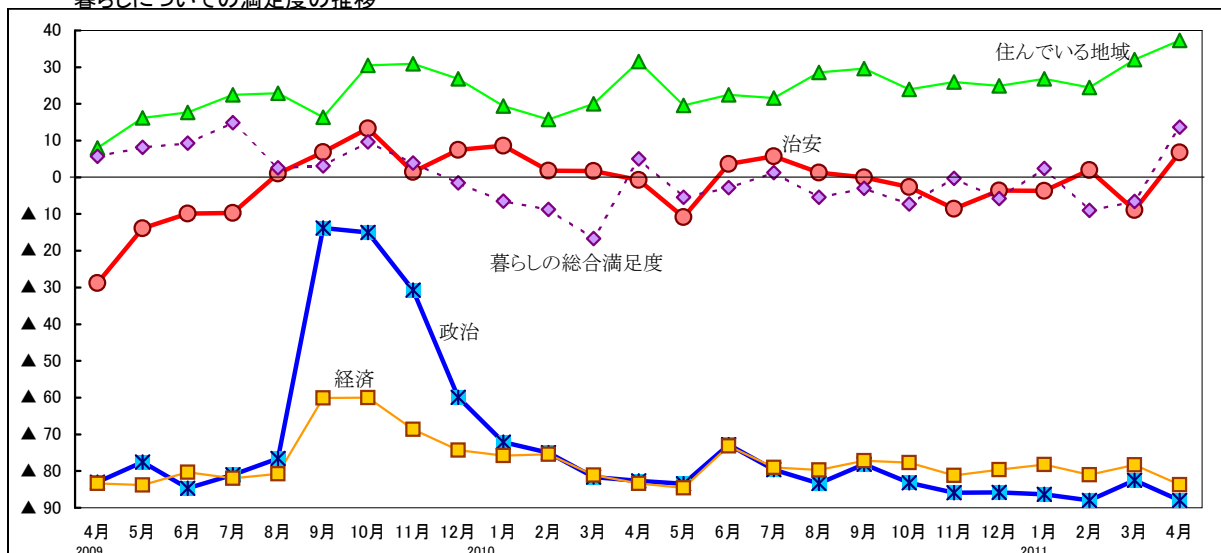
4. 暮らしについての満足度

●現在の満足度はどのくらいですか？

調査時期	政治				経済				治安			
	満足である(%)	不満である(%)	満足—不満	前年同月差	満足である(%)	不満である(%)	満足—不満	前年同月差	満足である(%)	不満である(%)	満足—不満	前年同月差
2009年4月	2.8	85.8	▲83.0	—	3.8	87.2	▲83.4	—	24.1	52.9	▲28.8	—
5月	2.9	80.4	▲77.5	—	1.4	85.2	▲83.8	—	31.1	45.0	▲13.9	—
6月	1.0	85.7	▲84.7	—	3.0	83.3	▲80.3	—	32.5	42.4	▲9.9	—
7月	2.6	83.6	▲81.0	—	2.1	84.1	▲82.0	—	28.7	38.4	▲9.7	—
8月	4.2	80.8	▲76.6	—	3.6	84.4	▲80.8	—	34.9	33.9	1.0	—
9月	21.8	35.6	▲13.8	—	3.2	63.3	▲60.1	—	37.8	30.9	6.9	—
10月	23.0	38.0	▲15.0	—	4.2	64.2	▲60.0	—	38.5	25.2	13.3	—
11月	21.7	52.4	▲30.7	—	5.4	74.0	▲68.6	—	37.2	35.7	1.5	—
12月	10.7	70.6	▲59.9	—	3.7	78.0	▲74.3	—	36.4	28.9	7.5	—
2010年1月	4.8	76.9	▲72.1	—	4.8	80.6	▲75.8	—	40.3	31.7	8.6	—
2月	5.4	80.4	▲75.0	—	6.0	81.4	▲75.4	—	35.6	33.8	1.8	—
3月	2.8	84.4	▲81.6	—	2.8	83.9	▲81.1	—	33.9	32.2	1.7	—
4月	4.6	87.3	▲82.7	0.3	3.9	87.3	▲83.4	0.0	33.9	34.6	▲0.7	28.1
5月	4.2	87.7	▲83.5	▲6.0	1.9	86.5	▲84.6	▲0.8	29.2	40.0	▲10.8	3.1
6月	7.5	80.3	▲72.8	11.9	4.7	77.9	▲73.2	7.1	37.8	34.2	3.6	13.5
7月	3.7	83.3	▲79.6	1.4	3.2	82.2	▲79.0	3.0	37.4	31.7	5.7	15.4
8月	2.9	86.3	▲83.4	▲6.8	3.3	83.0	▲79.7	1.1	35.7	34.4	1.3	0.3
9月	2.5	80.6	▲78.1	▲64.3	2.1	79.3	▲77.2	▲17.1	33.8	33.8	0.0	▲6.9
10月	2.6	85.8	▲83.2	▲68.2	3.4	81.1	▲77.7	▲17.7	36.0	38.6	▲2.6	▲15.9
11月	2.2	88.1	▲85.9	▲55.2	2.1	83.3	▲81.2	▲12.6	31.6	40.2	▲8.6	▲10.1
12月	1.7	87.5	▲85.8	▲25.9	3.5	83.1	▲79.6	▲5.3	32.6	36.2	▲3.6	▲11.1
2011年1月	1.4	87.7	▲86.3	▲14.2	2.8	81.0	▲78.2	▲2.4	32.7	36.4	▲3.7	▲12.3
2月	2.0	90.0	▲88.0	▲13.0	1.5	82.5	▲81.0	▲5.6	34.5	32.5	2.0	0.2
3月	1.9	84.4	▲82.5	▲0.9	2.8	81.1	▲78.3	2.8	29.8	38.7	▲8.9	▲10.6
4月	2.3	90.3	▲88.0	▲5.3	2.2	85.9	▲83.7	▲0.3	38.1	31.3	6.8	7.5

調査時期	住んでいる地域				暮らしの総合満足度			
	満足である(%)	不満である(%)	満足—不満	前年同月差	満足である(%)	不満である(%)	満足—不満	前年同月差
2009年4月	41.5	33.5	8.0	—	42.9	37.2	5.7	—
5月	45.4	29.2	16.2	—	43.1	34.9	8.2	—
6月	47.3	29.6	17.7	—	42.8	33.5	9.3	—
7月	51.3	28.8	22.5	—	42.1	27.2	14.9	—
8月	51.6	28.7	22.9	—	34.9	32.3	2.6	—
9月	47.3	30.9	16.4	—	36.1	33.0	3.1	—
10月	52.9	22.4	30.5	—	38.5	28.8	9.7	—
11月	55.2	24.3	30.9	—	36.8	32.9	3.9	—
12月	48.7	21.9	26.8	—	33.2	34.7	▲1.5	—
2010年1月	50.0	30.6	19.4	—	33.3	39.8	▲6.5	—
2月	44.3	28.5	15.8	—	30.6	39.3	▲8.7	—
3月	43.3	23.3	20.0	—	26.1	42.8	▲16.7	—
4月	52.7	21.2	31.5	23.5	38.9	33.9	5.0	▲0.7
5月	44.6	25.0	19.6	3.4	31.9	37.3	▲5.4	▲13.6
6月	47.3	24.8	22.5	4.8	34.6	37.4	▲2.8	▲12.1
7月	47.6	26.0	21.6	▲0.9	37.0	35.7	1.3	▲13.6
8月	50.2	21.6	28.6	5.7	33.2	38.6	▲5.4	▲8.0
9月	50.2	20.6	29.6	13.2	32.9	35.9	▲3.0	▲6.1
10月	48.5	24.5	24.0	▲6.5	32.6	39.9	▲7.3	▲17.0
11月	48.7	22.7	26.0	▲4.9	33.8	34.1	▲0.3	▲4.2
12月	50.4	25.5	24.9	▲1.9	33.5	39.3	▲5.8	▲4.3
2011年1月	47.7	20.9	26.8	7.4	33.7	31.3	2.4	8.9
2月	49.5	25.0	24.5	8.7	29.0	38.0	▲9.0	▲0.3
3月	52.9	20.8	32.1	12.1	30.6	37.2	▲6.6	10.1
4月	58.2	20.9	37.3	5.8	45.1	31.4	13.7	8.7

暮らしについての満足度の推移



本件に関するお問い合わせ

協同組合 岡山情報文化研究所／神田、原内
〒700-0824 岡山市北区内山下1-3-1 電話 086-225-8181
「岡山トレンドウォッチャー」(<http://www.vis-a-vis.co.jp/>)